

生物多様性国際シンポジウム

私たちの命の源「植物」を守るために

Global Strategy ～世界植物保全戦略～

2010年10月に名古屋で開催される第10回生物多様性条約会議（COP10）の準備が進められています。COP10では世界各国の人々が、生物多様性の保全、地球の未来、人の未来を守るための話し合いを行います。その中でも特に重要な、私たちや野生生物の命の源である「植物」を守るために、世界植物保全戦略の成果の評価と改定の試みが行われています。私たちの身近な植物たちを守るために何ができるか、じっくりと考えてみませんか。

2009年10月25日（日）

13:00-17:30（開場12:00）

石川県立大学 第1大講義室
(野々市町末松1丁目308)

■参加費無料 なるべく葉書・電話・メール・FAXでお申し込み下さい。

定員150名（お申込み多数でご参加いただけない場合はご容赦ください）

■お申込み先：

いしかわ里山里海フェア実行委員会 〒920-8580 金沢市鞍月1-1

メール：e170500@pref.ishikawa.lg.jp 電話：076-225-1477 FAX：076-225-1479

生物多様性JAPAN メール chipmunk@h5.dion.ne.jp FAX 075-551-3936



主催：生物多様性 J A P A N ・ いしかわ里山里海フェア実行委員会

共催：石川県・石川県立大学響緑祭実行委員会

※平成21年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

※平成21年度公益信託日本経団連自然保護基金の助成を受けて開催されます。

■プログラム

開場12:00

開会13:00 総合司会 西田 治文氏 (生物多様性JAPAN事務局長)

開会の挨拶 松野 隆一氏 (石川県立大学長)

第1部 「身近な植物たちを守る」

13:05-13:25 「COP10と植物戦略」 古田 尚也氏 (IUCN日本プロジェクトオフィス)

13:25-15:00 「たねからのメッセージ」 ジュード&ミシェル・ファントン氏
(シードセイバーズ・ネットワーク創設者) 逐語訳通訳有り

休憩

第2部 「石川県の伝統的な野菜の品種を守り育てる人々」

15:15-15:50 事例紹介 ～「地場野菜の品種を守る」

「金時草、太胡瓜」 米林 利榮氏 (生産者)

「五郎島金時」 西沢 寛一氏 (金沢市農協 理事)

「能登大納言」 細川 一郎氏 (奥能登農林事務所 担当課長)

第3部 「生物多様性パネルディスカッション」 ～植物は命の源～

15:50-17:20

司会 西田 治文氏

パネラー 堂本 暁子氏 (元IUCN北東アジア地域理事・前千葉県知事)

菊沢 喜八郎氏 (石川県立大学教授)

米林 利榮氏

古田 尚也氏

閉会の挨拶 西田 治文氏

■アクセス

バス：JR「金沢」または「香林坊」駅から

北陸鉄道バス「加賀産上林」下車、徒歩15分。

電車：北陸鉄道石川線「乙丸駅」25分。



ジュード・ファントン&ミシェル・ファントン
Jude Fanton Michel Fanton

1986年にThe Seed Savers Networkをバイロン・ベイ (オーストラリア) に設立。シードバンクでは5,500種もの種子を保存し、種子と農業と文化の多様性を守るための極めて重要な役割を果たしてきた。種子保全、パーマカルチャー、持続可能な農業のトレーナーとして、世界中で活動している。

2008年にドキュメンタリーフィルム Our Seeds: Seeds Blong Yum (邦題：みんなのたねの物語) をリリース。インドやソロモン諸島をはじめ、世界11カ国で種子保全や文化の多様性を映像で紹介。現在は新作を撮影中。

